

議会
だより

第3回定例議会 地元企業雇用促進の基金条例可決

会期 9月14日から
9月24日まで

平成21年第3回定例議会は、9月14日に召集され24日までの11日間の会期で行われました。一般質問と、条例制定1件、条例改正1件、決算6件、補正予算5件、その他の案件3件、請願1件、陳情1件、意見書1件が提出され、審議の結果18件が可決されました。

▼二十年度決算を認定

二十年度の決算認定は、十四日に提案されて二十四日に審議が行われ、一般会計・特別会計（国民健康保険・老人保健・介護保険・後期高齢者医療・村営水道）の六会計が認定されました。（詳細は二・三面）

▼一般質問は五氏より

- 初日に行われた一般質問は、次のとおりです。
 - 新築促進施策について
 - 地球温暖化（エコライフ）施策について 宮嶋 清伸
 - 農業用水路の本格的な改修について 宮嶋 怡正
 - 奨学金制度の拡充について 村道支障木対策について 小池 昌人
 - 国政選挙の結果による村の行財政の運営への影響について
 - 危機管理について 金田 憲治
 - 福祉バスについて
 - 凍霜被害農家への支援策について 申原 寛治
- （詳しくは、下條村のホームページでご覧になれます）

▼条例の制定

- 下條村地域雇用創出推進基金条例の制定について
- 高校生等を採用した飯伊地区の企業に対し、雇用促進

を目的とする奨励金を交付するための基金条例の制定で可決されました。

▼条例の改正

- 下條村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

・出産育児一時金を現行の三十五万円から三十九万円に引き上げるものですが、飯伊の医療機関で出産した場合には、実質四十二万円の支給となる改正案が可決されました。

▼補正予算

- 一般会計（第三号）
一億六千三百九十七万三千円増額

歳入の増額の主なものは、繰越金、経済危機対策臨時交付金、子育て応援特別手当交付金、災害復旧補助金、臨時財政対策債で、歳出の増額の主なものは太陽光発電システム設置工事費、子育て応援特別手当、地元企業育成支援基金積立、そばの城改修工事費、予備費で、総額二十四億二千二百七十五万五千円となりました。

- 国民健康保険特別会計（第一号）
二千八百五十四万六千円増額

歳入の増額の主なものは、二十年度決算の確定による繰越

金で、歳出の増額の主なものは、退職被保険者高額療養費、後期高齢者支援金、償還金、基金積立金で、総額三億七千六百五十四万六千円となりました。

- 介護保険特別会計（第二号）
三百三十二万八千円増額

歳入の増額の主なものは、二十年度決算の確定による繰越金で、歳出の増額の主なものは予備費で総額三億四千二百八十八万六千円となりました。

- 後期高齢者医療特別会計（第二号）
二百六十六万六千円減額

歳入の減額は二十一年度保険料の本算定によるもので、歳出の減額は広域連合納付金で総額三千三百九十二万二千円となりました。

- 村営水道特別会計（第一号）
二百十五万四千円増額

歳入の増額は使用料、歳出の増額は人件費で、総額一億九百九十一万となりました。

▼その他の案件

- 長野県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少について
- 長野県市町村自治振興組合を組織する市町村数の減少について
- 長野県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団

体の数の減少について
平成二十二年一月一日付で上水内郡信州新町と中条村が長野市へ編入合併することに伴うもので、それぞれ承認されました。

▼請願

- 「協同出資・協同経営で働く協同組合法」（仮称）の速やかなる制定を求める意見書」採択を求める請願について 採択

▼陳情

- 福祉医療自己負担金引き上げの撤回を求める陳情について 不採択

▼意見書

- 一件の意見書が提出され、審議の結果採択されました。
- 「協同出資・協同経営で働く協同組合法」（仮称）の速やかなる制定を求める意見書

第二回臨時議会

七月二十四日、第二回臨時議会が行われ、一般会計（第三号）の補正予算が審議され可決されました。

内容は、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金に伴うもので、歳入歳出一億二千三百六十九万一千円を増額しました。